

第67回 富山県高等学校定時制通信制体育大会要項(案)

- 1 主催 富山県高等学校体育連盟
- 2 共催 富山県教育委員会
富山県高等学校定時制通信制教育振興会
(公財) 富山県体育協会
- 3 主管 富山県高等学校体育連盟定通専門部
- 4 会場

バスケットボール	(男・女)	富山工業高校体育館
卓球	(男・女)	志貴野高校体育館
バレーボール	(男・女)	新川みどり野高校体育館
ソフトテニス	(男・女)	となみ野高校テニスコート
バドミントン	(男・女)	雄峰高校体育館
柔道	(男・女)	雄峰高校武道場
剣道	(男・女)	雄峰高校武道場
軟式野球	(男女)	新川みどり野高校グラウンド
サッカー	(男女)	富山工業高校グラウンド

※大会当日、大会本部を雄峰高校内におく。

- 5 期日 6月8日(土) 予備日: 6月15日(土)

- 6 日程(種目により変更の場合あり)

9:00~	監督者会議(各会場)
9:15~	開会式(雄峰高校体育館) 開始式(各会場)
9:30~	競技開始

※本大会は全国大会(7・8月)、北信越大会(10月)の予選会とする。

全 国 大 会 (東京都等)	北 信 越 大 会 (石川県)
1. 軟式野球 (男女)	1. 軟式野球 (男女)
2. バスケットボール (男・女)	2. バスケットボール (男・女)
3. バレーボール (男・女)	3. バレーボール (男・女)
4. バドミントン (男・女)	4. バドミントン (男・女)
5. 卓球 (男・女)	5. 卓球 (男・女)
6. ソフトテニス (男・女)	6. ソフトテニス (男・女)
7. 柔道 (男・女)	7. 柔道 (男・女)
8. 剣道 (男・女)	8. 剣道 (男・女)
9. サッカー (男女)	9. サッカー (男女)

- 7 競技方法
各競技とも、試合方法はトーナメント戦とする。但し、団体戦、個人戦ともエントリーが3チーム(3人)の場合は、リーグ戦とする。

《軟式野球》

- (1) 競技規則は当該年度公認野球規定による。大会特別規則は別に定める。
- (2) 本大会は7回戦制及び時間制(試合開始後80分を越えた時点で次の回を最終回)とし、同点の場合は無死1・2塁で継続打者(走者は前位者)によるタイブレーク制で勝敗を決定する。
- (3) 5回終了以降で7点以上の差のあるときはコールドゲームとする。
- (4) 使用球は公認球(TOPボールM号)とする。
- (5) 1チームは、選手15名以内とし、帽子も必ず着用すること。
- (6) 雨天の場合は代表者、監督者会議において実施の可否を決定する。
雨天等で試合が実施できない場合は、抽選で上位大会出場校を決定する。
6月15日(土)は予備日…参加校数によっては、大会開催日となる場合があります。

《バスケットボール》

- (1) 本大会は現行日本バスケットボール協会競技規則により実施する。ただし、競技時間は8分クォーター制とし、延長戦は5分とする。
- (2) 出場校は濃淡2色のユニホームを準備すること。
- (3) 1チームは、選手15名以内とする。

《バレーボール》

- (1) 競技規則は当該年度日本バレーボール協会6人制競技規則による。但し、ネットの高さは男子2m35cm、女子2m15cmとする。
- (2) ユニホーム、監督章、マネージャー章は競技規則のものを着用する。
- (3) 試合が連続する場合には、15分以上30分以内の休息を与える。その場合試合開始時間を審判が連絡する。
- (4) 使用球は、日本バレーボール協会検定球とする。
- (5) 1チームは、選手14名以内とする。ただし12名を超える場合は必ず2名リベロをおくこと。
- (6) ユニホームは統一し1～14の一連番号とする。

《バドミントン》

- (1) 競技規則は現行日本バドミントン協会競技規則による。
- (2) 団体戦の順序は男女とも、複・単・単で2ゲーム先取とする。単・複の重複は可とする。各チーム初めての試合は、勝敗にかかわらず全試合を行う。
- (3) 個人戦はシングルスのみ行う。男女とも1校6名以内のエントリーとする。団体戦と兼ねてよい。
- (4) 団体戦・個人戦とも3セットマッチ。個人戦の準々決勝以上は1セット21点で行う。セティングは20点。2点差がつくか、どちらかが30点になった時点でそのセットの勝敗を決する。前述以外の個人戦および団体戦は1セット15点で行い、セティングは14点。2点差がつくか、どちらかが20点になった時点でそのセットの勝敗を決する。
- (5) 使用球は公認球（水鳥3番）とする。
- (6) ユニホームは白を基調としたもので背にゼッケン（B5版程度）をつけること。（白布に黒で、選手名、学校名を記入）

《卓球》

- (1) 競技規則は現行日本卓球協会競技規則による。
- (2) 団体戦のエントリーは7名以内とし、競技は3～6名で行う。ダブルスを中央におく4シングルス、1ダブルス（単・単・複・単・単）の5試合とし、3点先取法で勝敗を決定する。但し1・2回戦は勝敗にかかわらず全試合を行う。単・複は重複してよい。オーダーの組み方はAB、PQ方式とする。この場合両チームは互いに違う方式をとる。
- (3) 個人戦は男女とも1校3名以内のエントリーとし、シングルス11点3セット先取法で行う。団体戦と兼ねてもよい。
- (4) 使用球はプラスチック製40mm球（Nittaku, TSP, バタフライ）とする。
- (5) 選手は背にゼッケン（B5版程度）をつけること。（白布に黒字で、選手名、学校名を記入）ユニホームの上衣は赤・緑・紺など協会細則による色調であること。（白は不可）
- (6) シングルスのアドバイザーは1名とする。

《ソフトテニス》

- (1) 競技規則は現行の日本ソフトテニス連盟ハンドブックによる。
- (2) 団体戦は男女とも3組対抗点取法とする。2組のみの出場も可能。
- (3) 個人戦における各校のエントリー数は自由とする。
- (4) 使用球は公認球（アカエム）とする。
- (5) シューズはテニスシューズを使用すること。
- (6) 選手は背中に校名入りのゼッケン（B5版程度）をつける。
- (7) 天候等の関係により屋外テニスコートで試合が実施できない場合は、となみ野高校体育館で実施する。

《柔 道》

- (1) 競技規則は、国際柔道連盟試合審判規定による。
- (2) 試合時間は団体個人とも3分とする。
- (3) 団体戦はトーナメント戦を行い、勝率高点法で決する。1チームは3名（2名のみのエントリーも可）+補欠2名以内とする。選手オーダーは申込書通りとし、試合終了後まで変更してはならない。但し、事故その他で補欠起用の時は補欠選手をそのオーダーに入れること。
- (4) 団体戦に於ける勝敗の判定は「一本」「技あり」「僅差」とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、「指導」差が2以上（少ない側の勝ち）とする。両チームの得点が同点の時は内容差（一本勝の数>技あり勝の数）による。内容も同等の場合は出場した中の任意選手による代表戦（勝敗は個人戦に準ずる）を行う。
- (5) 個人戦は、男子は体重別4階級で行い、65kg級（65kg以下）、75kg級（65kg超75kg以下）、90kg級（75kg超90kg以下）、90kg超級（90kg超）とする。女子は体重無差別とする。各校のエントリー人数は自由とする
- (6) 個人戦に於ける勝敗の決定基準は「一本」「技あり」とする。双方とも同等の場合は、時間無制限のゴールデンスコアーによって勝敗を決する。
- (7) 計量は当日監督会議前に会場で行う。計量失格者は試合に出場できない。

《剣 道》

- (1) 全日本剣道連盟審判規定による。
- (2) 試合時間は団体4分、個人4分とする。
- (3) 選手オーダーは申込書通りとし、試合終了後まで変更してはいけない。但し、事故その他で補欠起用の時は補欠選手をそのオーダーに入れること。
- (4) 団体戦は1校1チーム3名、補欠2名以内とする。ただし、やむを得ない場合は、1チーム2名以上での参加も認める。3名チームが2名チームと対戦する場合は、事前に申し込んであるオーダーの中で、不戦勝ちの選手を試合前に1名決定できる。試合は2試合を行う。
- (5) 個人戦はエントリー数を制限しない。
- (6) 紅白のたすきを持参すること。

《サッカー》

- (1) 競技規則は当該年度（財）日本サッカー協会制定の競技規則による。
試合時間は前後半合計60分（30-10-30）とする。時間内で勝敗が決しない場合は、PK方式（5人で決定しない場合はサドンデスとする）により次回戦に進出するチームを決定する。但し、決勝戦において時間内に勝敗が決定しない場合は延長戦として20分（10-10）延長し、なおも決定しない場合はPK方式（5人で決定しない場合はサドンデスとする）により決定する。
- (2) 登録人数は1チーム、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手16名までとする。
- (3) 試合開始前に最大限5人までの交代要員の氏名を主審に通告しておき、主審の許可を得て交代することができる。（5人までの交代可）
- (4) 選手は全員統一されたユニホームを着用する。事前に登録されたものを原則とし、背番号の変更は監督会議以降認めない。正副2着、異なる色のユニホームを携行すること。但し、審判と類似色の上着を用いることはできない。背番号は必ず登録された選手固有の番号をつけること。背番号は1から通し番号とする。縦縞及び横縞の上着には白布地に背番号を付け、わかりやすくすること。
- (5) 本大会において退場させられた者は次の試合に出場することはできない。それ以降の処置については、大会の競技委員会等で決定する。本大会期間中、警告を2回受けた者は次の試合に出場できない。ピッチの内外問わずフェアプレーで行動すること。

8 参加資格

- (1) 選手は富山県高等学校定時制・通信制課程の在籍生であること。
- (2) 年齢制限はなし。
- (3) 同一選手の出場は同一競技4回までとする。
- (4) 独立行政法人日本スポーツ振興センターへ加入していること。
- (5) 別途定める「富山県高等学校定時制通信制体育大会における個人情報及び肖像権に関する取り扱い」を了承していること。
- (6) チーム編成においては原則学校単位・課程別とするが、全国高体連の規定する「全国高等学校総合体育大会開催基準要項」に準ずる。（定時制課程・通信制課程の生徒による混成チームは認めない。但し、同一校（※定時制通信制課程併置校）の場合は除く。）なお、合同チーム編成においては、別に定める「小規模定時制通信制高校における合同チーム参加資格の特例及び規約」による。

9 表 彰

- (1) 団体戦は1・2位を表彰する。1位には優勝旗または優勝杯（持ちまわり）及び賞状を授与する。個人戦は1・2・3位（決定戦）とする。（賞状）
- (2) 表彰は各競技毎、閉会式に行う。

10 申し込み

- (1) 申込期限 令和元年 5月15日（水） 必着
- (2) 申 込 先 〒930-0009 富山市神通町二丁目12番20号
雄峰高等学校内高体連定通部事務局
- (3) 申込方法 別紙の申込用紙に記入し各校ごとにまとめて申し込む。
- (4) 参 加 料 団体 300円 × エントリー人数
個人 300円 × エントリー人数
※軟式野球に出場するチームは、定通体育大会参加料のほかに全国定時制通信制軟式野球連盟の登録料 1チーム 9000円+（2200円×人数）を県高体連定通部事務局へ納める。

11 抽 選 会

令和元年 5月21日（火） 14:30～ 雄峰高校会議室

12 そ の 他

- (1) 前年度優勝校は開会式（開始式）に優勝旗、優勝杯を返納する。
- (2) 試合球の持ちより等については、以下のとおりとする。
 - バドミントン → 事務局で準備
 - 卓 球 → 事務局で準備
 - バスケットボール → 県高体連バスケットボール専門部にて準備
 - バレーボール → 事務局で準備
 - ソフトテニス → 事務局で準備
 - 野 球 → 事務局で準備
 - サッカー → 事務局で準備
- (3) エントリーの変更
 - ア. 団体戦は原則として監督者会議以降は認めない。
 - イ. 個人戦は原則として認めない。ただし、ソフトテニス競技においては、事情により1ペアにつき1名のみ認める場合があるが、同一校・同一課程に所属し、個人戦にエントリーしていない選手に限る。（ペア同士の変更は認めない）
- (4) 抽 選
 - ア. 団体戦はノーシードとする。
 - イ. 個人戦は前年大会で4位以内の選手をシードする。
 - ウ. 個人戦は各学校のエントリー数に応じてブロック別に分け、できるだけ早い段階で対戦しないよう配慮する。ただし、エントリー数がブロック数（2・4・8）を越えた場合はこの限りではない。
- (5) リーグ戦の順位決定方法について
順位決定は、ポイント方式による。勝ち＝2、引き分け＝1、負け＝0
< 順位の決定は次の順序で行う >
 - A. ポイント数の多いチームが上位。
 - B. 同点チームが2またはそれ以上の場合、
 - ア、得失点差の多いチームが上位。
 - イ、得点数の多いチームが上位。
 - ウ、チーム間の対戦結果、勝ちチームが上位。
 - エ、抽選
- (6) 県選抜チームの編成について
上位（全国・北信越）大会に於いて県選抜チームを編成する場合、大会終了後の選考会議で決定する。